



# 週)報

2012~2013年度)) ) R I会長)田)中)作)次)  
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)  
)))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー  
第 2570 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511  
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司)))副会長)山室博美) )幹事)稲見)淳

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 946 回(5 月 7 日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長  
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想  
第 2 副 S A A 小幡君、奥富君  
卓話講師 (株)T S E 代表取締役 若松 隆様  
ビクター 米山記念奨学生 金強重君

せる仕組みになっていて、しかも短期間教育で戦力化してしまうという事があります。

今日はその鍵山さんの話をさせていただきます。

鍵山さんは新聞・社会面の暗いニュースは読まないそうです。理由は「そういう記事を読んでも、それが後々自分の人生に何か参考に成るとは思わないから」だそうです。

特に朝刊は、朝起きて一番最初に脳へインプットする情報である。朝と言えば、睡眠によって前日の疲れがとれ、爽やかに目覚める時間である。

「昨日は色々嫌な事があったけど今日は頑張ろう」と心機一転して布団から跳ね起き、「今日も一日宜しくお願いします。」と神棚に二礼してパンパンと拍手を二度打って、一日のスタートを切る。そして美味しい朝食を感謝しながら食べた後、お茶を飲みながら新聞を広げる。すると殺人事件やら政治家の汚職事件等の活字が飛び込んでくる。テレビをつけると、みの某氏が「ほっとけない！」と怒りながら悲惨な殺人事件を事細かに報道したり、執拗に追いかけている。そういうテレビを観ている自分が悲しくなる。やっぱりタダで観れる民放の番組もわざわざお金を払って読む新聞も情報は受け手がきちんと取捨選択して、本当に必要な情報を得たいものである。とは言っても、我々凡人の心の中には、他人の不幸を「おもしろい」「覗きたい」と思う心理があります。だから鍵山さんのように「いつか心をきれいに」「いつも身の回りをきれいに」と心掛けないと、ついつい他人の不幸やプライバシーを酒の肴にして会話を弾ませてしまいがちになりますので気を付けようと考えているところでもあります。

#### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	31 名	88.57%	86.67%

#### 会長の時間

若松会長

##### 「全国トイレ掃除の会...会長の話」

皆さんは鍵山秀三郎さんという方をご存知でしょうか？中小企業の経営者の間では結構有名な方で鍵山さんを師事して上場を果たした企業さんは何社もあります。



カー用品の専門店「イエローハット」の創業者で「日本を美しくする会」や「全国トイレ掃除の会」等の活動を指導されている方です。



特に「掃除する会」では全国に組織が出来ており、あっちこちの小中学校のトイレを素手で掃除させて精神鍛錬の場として指導されたりしています。

狭山にもイエローハットがあります。機会がありましたら一度見て欲しいのですが、品物の整理は大変美事です。見せてもらえないと思いますがバックヤード(裏側)の整理が素晴らしい。新入社員でもミスをおかさずに品物をスピーディに出



格差社会と言われている昨今であります、一日 24 時間という時間は皆、平等に与えられてい

る訳で、如何に豊かな時間にするかと言う事はその人の心掛けに成るんですよ。

例えば、朝、新聞を読む時間が30分あるとして、その中で心温まる記事の一つでも見つける事が出来たら、それはその人にとって大変有意義な時間となる訳です。

「暗いニュースは読まない」という鍵山さんは、例え小さくても心が温まる記事に目が止まると、切り抜いて保有されるそうです。「そういう記事は繰り返し読んでも心にはほのぼのとした感動を与えてくれる」と言われています。

改めて人生に役立つ情報は探そうとする意志がないと出合えないものだったわけですが、受



信機としての感性も磨いておく必要がありますね。

鍵山さんはトイレ掃除をしながらその感性を磨いているそうです。だからいつも謙虚で、謙虚だからいい情報をキャッチできるのだろうかと思っています。

「身の回りをいつも綺麗に！」と心掛けていると、一日の多くの時間を心豊かに送れるのかもしれない。・・・とは思いますが、やっぱり私にはちょっと難しいかも！

## 幹事報告

稲見幹事

1. RI日本事務局財団室NWSについて
2. 青少年を育てる狭山市民会議総会及び第1回理事会報告について
3. 受贈会報 所沢東RC
4. 例会変更 所沢RC

## 委員会報告

宮野次年度幹事より

2013～2014年度のガバナー公式訪問の日程につきましてご報告いたします。7月16日(火)ガバナー補佐訪問、そして3日しか空かないのですが、7月19日(金)ガバナー訪問で狭山、新狭山、狭山中央、3クラブのIM方式で16時からのご予定で進めております。しかし3日程前にガバナーから、「私の公式訪問日程につきまして、まだ最終決定ではございません。皆様には5月10日にもう一度最終的にご連絡致します。」という連絡を頂きましたので、もしかしたら変更になるかもしれません。

また、本日入られた5名の新入会員、東さんに関しましては、ガバナー訪問の時にガバナーとの30分間懇談があります。ご出席の程宜しくお願い致します。

米山記念奨学生

金強重 君

先日会社の最終面接を受けましたが、4月末に結果がでまして、新宿にある会社に内定を頂きました。皆様の愛情と関心のおかげで、内定を頂いたのだと思います。

この会社は翻訳、またコンサルティングをする会社で、外国から日本に進出する企業や、日本から外国に進出する企業を支援したり、外国人たちの不便な言語をサポートするために、翻訳をサービスしたりする企業であります。来年入社のご予定ですが、残った時間、頑張ってお自分を成長させ、日本の社会、そして世界的に役に立つ人物になりたいと思います。ありがとうございました。

## 「外来卓話」・・・・・・・・

(株)ティ・エス・イー代表取締役 若松 隆様



本日の卓話の内容、テーマが自由だと聞いておりますが、会社・仕事についてと、私が社会人になって最も影響を受けた、青年会議所活動について、少しお話をさせて頂きたいと思っております。まず簡単に自己紹介をさせていただきます。私、若松隆(わかまつ りゅう)と申しまして、父が尊敬する西郷隆盛の「隆」という字を一字とり、なぜ「りゅう」と読むかといいますと、兄が「ごう」なので響的に「りゅう」となったと聞いております。年齢は39歳、今年10月にいよいよ大台の40歳になります。兄弟構成と致しましては、5歳上の姉と3歳上の兄がいる末っ子で、幼少の頃は父が昼も夜もおりませんでしたので、母に甘えっぱなしの典型的な末っ子だったと記憶しております。

経歴も簡単に説明させていただきますと、私は狭山で生まれ、狭山で育てております。学校は新狭山小学校、堀兼中学校、所沢西高校と、いわゆる典

型的な公立校の普通の学校を卒業致しまして、成績も中の中と、特別取柄もない子供だったのではないかと思います。しかし幼稚園の頃より公文書を習っておりまして、算数、数学だけは非常に得意であったと記憶しております。だいたいその学年の2~3年上の先の勉強をしておりまして、数学だけは唯一成績が優秀であったのではないかと自分でも思っております。また今振り返ると普通の家庭と若干違う所は、今でこそ当たり前だと思いますが、私が小学校1年生頃、約32~33年前から自宅にパソコンがありました。父がお客さんから古いパソコンをもらってきて、それをおもちや代わりにいじっていた記憶があります。小学校2~3年生の頃には、パソコンのプログラミングを組み、雑誌をみてゲームを作ったり、四則演算のプログラムを作ったりということをやっていた記憶がございます。そんなこともあり、小学校の卒業アルバムでは、将来の夢は「プログラマー、システムエンジニア」と書いており、そして大学は、神奈川県平塚にある「神奈川大学・情報科学科」に進学し、コンピュータの勉強をしたという経緯がございます。

大学卒業後、渋谷にあります中堅のソフトハウスに就職致しました。250名程の企業なのですが、ここでプログラマー、システムエンジニアという経験を積み、小学校の時に描いた一つの夢を叶えることができたのだと、今振り返り思っております。ここではJRのシステムや金融カードのシステムを開発・運用していたのですが、4年も過ぎる頃、技術がだんだんと身に付いてくると、父の姿を見ていたということもありますが、自分で独立してやりたいという思いが強くなりました。大学の頃からそうした思いは非常に強くありましたので、大学の友人には「いつか一緒にやれたらいいね」と話しておりました。この時に私のお客様に、自分が独立したら仕事を頂けるか聞いたところ、安くて良いものが作れば是非やってくれというお言葉を頂きまして、その翌日に父に「会社を辞めて自分でやりたいと思う」と相談しましたら、エンジニアの会社に「ティー・エス・イー」という会社があるからそこでやってみたらどうかという提案をされ、大学の頃の友人2人に声を掛け、ティー・エス・イーのIT事業部というものを3人で立ち上げたのが約11年前となっております。今現在、おかげ様をもちまして少しずつ成長をし、狭山と栃木で20名程の組織という形にまでなりました。また3年ほど前から、父の「大星電機株式会社」の経営企画室という役割も担うことになりまして、大星電機、ティー・エス・イーと、大星グループの業務をこなしているというところが経歴でございます。

仕事について簡単に説明させていただきますが、最近では銀行さんの取引先等で、何社か弊社に来て頂くこともあるのですが、物が無い仕事ですのでなかなか異業種の方には伝えづらい部分がありま

す。簡単に言いますと、工場等、生産設備の制御の部分の設計・制作、そして立ち上げをメインにやっております。わかりやすいところでいいますと、資料左端の真ん中、これはホンダさんの自動車の

#### 仕事について



溶接のライン、その上は塗装のラインになります。ロボットが何台か見えると思いますが、この部分の制御などを主に行っております。今特に忙しくやらせて頂いているのは、左の一番下、ホンダさんの寄居工場ですが、ここの溶接ラインの制御を一括で受けることができ、この夏の立ち上げにむけて取り組んでいるところです。

少し面白いところと致しましては、国際宇宙ステーションのハーネス制作や、H-A ロケット、H-B ロケットの発射台の試験装置等もやっております。また東日本大震災後は、石巻にある瓦礫を、東京と北九州が受け入れを発表しておりますが、それを北九州に運ぶのに、瓦礫に放射能は殆どないのですが、きちんと測定してからでは受け入れられないという表明がありましたので、高速で放射能を測定する装置等を担当させて頂いております。なかなか業務の内容は伝わりづらい部分があるのですが、簡単に言いますと、機械で出来るところは機械で、人間でしかできない部分は人間がやるという部分の、機械の部分の自動化ということを中心にやっております。こうした業務の中で、実務をしっかりやっけていこうとしておりますが、この中で近年力をいれていることを本日ご説明させて頂きたいと思っております。

今一番会社として力をいれていることは、今年おかげ様でグループと致しましては創立40周年を迎えまして、この先60年、70周年も社会に必要とされる企業であろうということを目標と致しまして、制御を制し、世界の技術発展及び日本の国の発展に貢献しようという方針の下、「次世代に向けた会社づくり」というものに力をいれております。そうした中で、4つのテーマを柱に行っております。

#### 制御を制す5つの柱の確率

先ほど業務は簡単にご説明させて頂きましたが、もう少し細分化すると、技術の5つの柱というのが弊社にとってあります。

- ・電機部門

- ・電子・エレクトロニクス部門
- ・ソフトウェア
- ・ロボットティーチング
- ・これらを物理的に繋ぐハーネス制作

この5つの技術、弊社まだまだ強い所、弱い所があります。強みをさらに伸ばして、弱みを埋めていき、私たちの規模でこれら全てできるという所はなかなかありませんので、そこを伸ばしていこうと、事業を確立しております。

### 積極的な人材採用

5~6年程前から、新人採用、中途採用を進めておりまして、ここ5~6年で20名程の人材を採用致しました。今年は7名の採用をし、20年、30年先も社会に必要とされる会社となるために、積極的な採用をし、社会貢献していく、そして会社も業績を伸ばしていこうという形で進めております。

### 人事評価制度・人材育成

右肩上がりの経済成長の時代は終わりまして、これからは私たち、少なくとも日本の製造業に深く関わる企業と致しましては、国内に於いては非常に厳しい時代が続くであろうと思っております。そうした中で、やる気がある人間、モチベーションが高い人間をしっかりと評価し、またそうでない人間はそうした評価をしようと、今新たに将来に向けた会社づくりということで人事評価制度、そしてそこに関連する人材育成のプログラムの確立、実践を行っております。

### タイ進出

私たちにとって国内に取り巻く環境は非常に厳しいものになると読んでおります。そうした中で私たちが生き残るには、日本の経済の状況と共に縮小をし、企業体質を絞って生き残るという方法もありますが、そうではなく、もう少しグローバルな視点を持ち、ASEAN地域を国内市場と捉え、会社と致しましては成長・発展をし、しっかりと日本の社会に貢献していくということを目指していきたいという思いで、タイ進出ということをお断り致しました。今年末、もしくは来年辺りに、タイに工場を進出させる予定でおります。

私、先ほど小学校の頃の夢が、「プログラマー、システムエンジニア」だったこと、そしてそれは達成できたということをお断り致しましたが、今現在は、サラリーマンの時に退職したランドコンピューターという会社(250名程の会社)で社長になるより、もっと大きな会社にしたいという思いがありますので、世界の技術革新に貢献、日本の社会に貢献するということを目的に、企業規模と致しましては300名位を目指してやっていきたい、タイへの進出を決め、社長とベクトルを合わせて今進んでおります。

この4つの柱を元に、今邁進しているわけですが、私は先ほど申しました通り技術屋です。ソフトウェア開発で、大学でもそうした勉強しかしてありませんでした。24時間パソコンに向かっ

ることが好きで、それ以外のことには全く興味がありませんでした。そうした中、経営に関する事、事業計画に関する事、細かいテーマ、もしくはマネージメント等は一切社会では学んでおりません。父の背中を見て、実体験としてはありましたが、単体の研修等を受けたりはしましたが、実際それが身になることはなかなかなく、一瞬その日だけ自分のモチベーションが上がることはありますが、会社でそれが役に立つところまではなかなか至っておりません。

現在会社は、3歩進んで2歩下がるといったように、1歩ずつ、少しずつしかまだ進んでおりませんが、少なくとも私が技術屋のままであれば、今もまだ3名でやっていただろう会社に違いないと思っております。しかしこうした4つの柱や事業計画を立てられるようになったもの、冒頭でお話しました青年会議所活動に大きく係わったからであろうと、自負しております。

青年会議所につきましては、皆さんご存知かと思いますが、信条と致しまして、ロータリークラブさんが「奉仕」ということに対して、青年会議所は「奉仕・友情・修練」という3つの信条を元に活動しております。目的は「明るい豊かな町づくり」でして、最近行った事業を少し挙げさせ

### 狭山青年会議所について



て頂くと、東日本大震災後は復興支援活動を中心に狭山市内で活動しております。震災後2日たった頃から狭山市役所と交渉致しまして、市の場所をお借りし、狭山市民の皆様へ支援物資、義援金の協力を頂きまして、東日本大震災被災地に即座に輸送しておりました。また狭山市の駅前の会場をお借りいたしまして、キャンドルナイトという事業を展開しております。繋がりやコミュニティの大切さを訴えようという形でしております。震災後、その時私は委員長をしておりましたので、どうしてもやりたいという思いがあり、仲川市長に直談判する際には、栗原さんに大変力添えを頂きました。ありがとうございました。

それ以外に、今年も行いますが、子供たちに生きる力を育んでもらおうと、自ら考え、自ら行動できる人間を育成しようということで、「むさし100km徒歩の旅」という事業をしております。これは大学生(文理大学の学生さんや近隣の学生さ

ん)を40名程集めて半年研修・育成し、その学生たちに子供を研修させて、4泊5日で100kmの道のりを子供たちと歩くというものです。そして「思いやり音楽会」や、昨年の衆議院選挙の際には合同演説会であったり、市長選の時にはローカルマニフェスト型公開討論会等の事業も展開しております。明るい豊かな町づくりが目的でございますので、それに関する事業ということで、様々なテーマで行っております。

こうした事業はテーマがあって行っておりますが、一番関わってよかったと思う点は、この事業を立ち上げる課程でももの凄く鍛えられることです。4回~6回の理事会という場で、協議審議を掛けていきます。その中で、なぜこの事業をするのだという背景と、なんのためにこの事業をするのかという目的と、そしてどのように行うのだという内容、そして事業を行った後は、何が達成できて何が未達成だったのかということと、とことん議論致します。20代、30代のメンバーと言いましても、それなりに会社では立場のある人間の集まりですので、会社、社会ではあまり怒られなくなっているのですが、この場ではとことん、皆が納得するまで頭を叩かれますので、相当な修練になると思っております。時にはいい大人が涙を流してその理事会に臨むこともあります。大体20時から活動しておりますが、遅い時には4時、5時まで議論をすることがあります。こうしたプロセスが私の今の会社での実践として、大いに役に立っているのではないかと思います。

青年会議所、40歳で卒業となります。私は2004年に入りましたので、ゆるやかなペースでちょうど10年間活動させて頂きました。この10年間に本当に良い経験をさせて頂いたと感じております。

私は今年、狭山青年会議所で副理事長という役職で、メンバーの資質向上を目指そうという委員会をしておりますが、もう一つ、青年会議所活動をしております。何かと申しますと、公益社団法人日本青年会議所に出向し、とある委員会に属しております。

皆さんこの絵が何かおわかりでしょうか？正解は日本の排他的経済水域を含めた領土了解の形でございます。これこそ日本の本当の形でして、今領土領海の意識醸成を努めていこうという形で、日本青年会議所のとある委員会に出向させて頂いております。この委員会は「領土領海委員会」と申しまして、小幡先生の所の中野先生、私同級生なのですが、



一緒に出向させて頂いております。ここ最近、近隣諸国との領土問題というものが大きく取り沙汰されておりますが、国際法的には尖閣諸島も竹島も北方領土も明らかに日本の領土であることは間違いないと思っております。そうした中、実効支配されていたり、国民の声が多かったりすると、そこはだんだん国際世論がそちらの国のものではないのかとなっていってしまうそうです。そこで私たちの領土だと認めてもらうためには、日本国民一人一人がしっかりと領土領海の意識を持つ必要があるのだということと、今感じております。そうした中、国民一人一人に領土領海の意識醸成をしっかりと図っていこうという形で事業を展開しております。

昨年、その意識を確認するために、青年会議所メンバーや多くの会場で市民の皆さんに、中国や韓国、ロシアとの領海がどこかということと「領土・領海検定シート」というもので確認してみました。これを行った結果、なんと全ての問題を正解できた正解率、たった3.2%でした。我々の世代、もしくは近い世代ですが、たった3.2%の国民しか正確に答えることができていないという現状があります。原因の一つとして、学校では習っていないということです。近現代史というものはほとんど私たちの授業では行っておらず、そうした社会背景もあるのだらうと思っております。しかしそれでいいのか、習っていないから知らなくて良いというのは、理由にならないと思います。私たちの世代は、皆さんが思っている以上に平和ボケをしております。現状維持であったり、安定を求めたりしている本当にぬるい世代だと思っております。またそんな世代の、私たちの子供の世代といえますのは、もっともっと平和ボケをした時代になってしまうのではないかと感じております。こんなことだと、国の発展どころか、日本という国が無くなってしまうと私は危惧しております。

中国の内部資料が何かですと、日本地図の北半球が日本自治区で、南半球が東海省などという、腹立たしい資料を目にすることがあります。そうさせないためにも、しっかりと領土領海の意識を国民の一人一人が持ち、粛々と国際社会に訴えていこうという動きを、今私たち領土領海委員会は行っております。また本年は、私たちの次の世代、青少年の子供たちに向かって、同じようなものをもっと易しくした意識醸成プログラムというものを展開しております。次世代に向けてこの辺の意識を高めていこうとしております。

最後になりますが、日本青年会議所といえますのは、領土領海問題だけではなく、国際社会やビジネス研修、青少年育成事業、憲法改正問題等、色々な提言をしております。日本青年会議所に行きますと、日本の国をどうしたいのか、どうしていかなければならないのかという思いを持った20代、30代の若者が多くいます。こうした人々を一人でも多く育成することが、国の発展、そし

てそれが地域の発展につながると思います。  
 青年会議所も今、会員減少というものに非常に苦しんでおります。私が入った 2004 年、狭山青年会議所は約 80 名のメンバーがおりましたが、今は 40 名程です。今年、来年、再来年で約 20 名が卒業しますので、放っておけば 20 名程度になりまして、5 年先には消滅しているという青年会議所があります。私はロータリークラブや青年会議所の活気は町の縮図であると思います。ロータリークラブや青年会議所が元気な町は、町も人も元気だと思います。ロータリークラブも狭山青年会議所も、共に発展していきたいと思ひます。

週報を読ませて頂きましたが、ロータリークラブさんも会員増強という同じテーマに苦しんでいると感じました。長期的な視点でみれば、ロータリークラブの会員を増やしたいのであれば、まずは青年会議所のメンバーを増やすことが一番早いと思ひます。青年会議所のメンバーをロータリークラブのメンバーに呼び込むということができず、是非青年会議所も一緒に会員確保に、皆様のご協力をお願いしたいと思ひております。

5 月 14 日 19 時から市民交流センター・コミュニティホールで、狭山青年会議所の事業があります。恐らく以前卓話に呼んだことがあるかと思ひますが、寺園智樹氏にプレゼンに関して 30 分ほど講演して頂きます。そして入会候補者に向けて、我々狭山青年会議所の各委員会の説明のプレゼン等を致します。是非皆様のご子息等、この国を、地域を元気にしたい等、強い思いのある若手には、どんどん入会して頂きたいとおもっておりますので、そうした方がいらっしゃれば是非私にお声掛け頂ければと思ひております。



若松隆様 本日はよろしくお願ひ致します。  
 卓話謝礼はニコニコへ！

若松君 新入会員の皆様、今日はおめでとうござい  
 います。今後ともよろしくお願ひします。

稲見君 新入会員の皆様、入会おめでとうござい  
 ます。直ぐに 25 日、20 周年の記念パ  
 ーティーがあります。出席よろしくお願ひ  
 します。

江原君 新入会員の皆様、本日はようこそお出で  
 下さいました。今後とも明るく、創造性  
 に富んだ狭山中央 R C を共に歩いてい  
 ただけますよう、何卒よろしくお願ひ申し  
 上げます。また、本日はティー・エス・  
 イー代表取締役でいらっしゃる若松隆様  
 の外来卓話を楽しみにしておりました。  
 お話何卒よろしくお願ひ申し上げます。

古谷君 用事が重なり、数回欠席致しました。  
 寶積君 若松隆様、本日は卓話楽しみにしていま  
 す。

寶積君 坂本さん、松浦さん、高岸さん、田中さ  
 さん、小室さん、中央 R C によるこそ

栗原(憲)君 (株)ティー・エス・イー代表取締役若  
 松隆様、ようこそお出で下さいました。  
 卓話よろしくお願ひ致します。

守屋君 新入会員の皆様、本日は誠におめでとう  
 ございます。重ねて御礼申し上げます。

中谷君 ティー・エス・イー代表取締役若松隆様、  
 本日の卓話よろしくお願ひします。  
 新入会員の皆さん、本日入会おめでとう  
 ございます。米山記念奨学生、金強銃君  
 就職内定したそうでおめでとう。

野口(建)君 前回欠席しました。

小澤君 若松隆さん、今日の卓話楽しみにしてお  
 ります。本日入会の皆さん、よろしくお  
 願ひ致します。

坂本君 再入会させて頂きまますので、皆様よろ  
 しくお願ひ致します。更に若松会長のご子  
 息さんの卓話、楽しみにしておりました。

狭山中央 R C 美女軍団

若松隆様ようこそお出で頂きました。本  
 日は卓話楽しみにしておりました。お父様の悪行  
 の数々もこれで全て帳消しです。というのは冗談  
 ですが、お父様にも一年間大変お世話になりました。  
 また、新しく入会された皆様、今日はおめで  
 とうございます。

会員誕生祝 古谷君 吉川君 佐藤君

夫人誕生祝 奥富君

結婚記念日 江原君 野口(留)君 沼崎君

## 次の例会

5 月 21 日(火) は創立 20 周年記  
 念パーティーへ例会振替

日時 5 月 25 日(土)

11:30 受付

12:00 開宴

会場 川越プリンスホテル